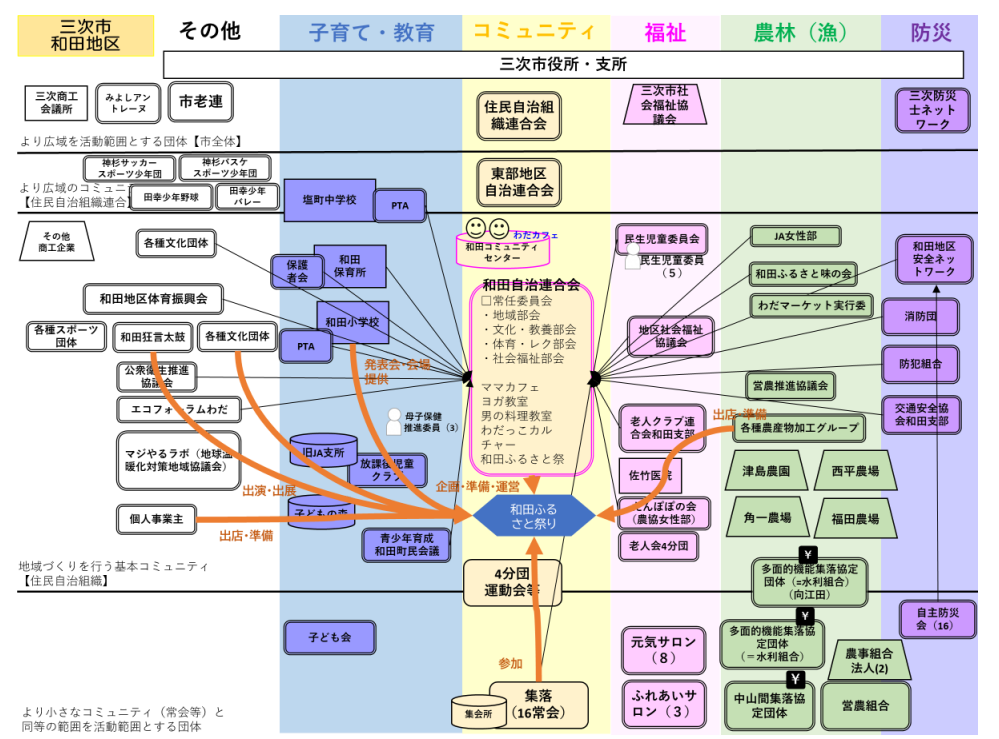


和田 和田ふるさと祭り

01 取り組み概要

実施主体	和田自治連合会
ねらい	● つながり集うまち和田 和田地区住民の交流
内容	<p>1 和田小学校学習発表会 2 各種展示 3 ステージ発表 4 各種バザー</p> <p>和田地区あげての大きなイベントとして、従来は体育振興会主催の体育祭、青年会主催の夏祭りがありました。体育祭については、地域の体育祭としての単独開催から、小学校との合同運動会へと変遷し、本年度小学校単独での運動会へと変更になったことから、休止となりました。夏祭りについては、和田ふるさと祭りとしてリニューアルし実施主体も和田地区の各種団体による実行委員会として開催してきました。ここ3年間はコロナにより中止となっていました。本年4年ぶりに開催することができ、多くの住民に参加いただきました。</p>

02 取り組み体制



2020年度地元関係図上に表示

03 特徴・工夫

- 和田地区の総合力がわかるイベント
 - すべてが自前の取組
 - 会場設営・展示・ステージ・出店など和田の人たちのいろいろな力が必要
- 継続することの意義
 - 各役員は役割を熟知している
 - 子ども達や保護者の参加もあり、ふるさと祭りの雰囲気を感じてもらえる

04 成果と課題

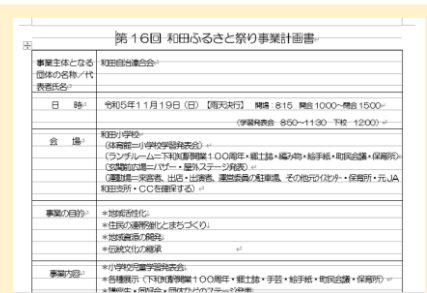
成果

- 和田の人が一堂に集う場があることを改めて感じられた
 - 駐車場係も受付係も出展者も出演者も出店者も来場者も和田に住んでいる人か何らかの関係がある人なので、和田ふるさと祭りは、一年に一回とは言え、みんなが集える和田の祭りだと感じられました。

課題

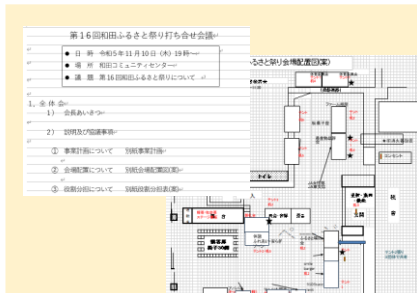
- 子ども達のかかわりをさらに増やす
 - 学習発表会へさらに多くの住民が参加していただけるように、あるいはステージや展示に多くの子どもたちがかかわってもらえるように。
- 参加者みんなが一緒にできる何かをつくる
 - 現在でもみんなでちょっとした体操などをしてもらっていますが、あの時はみんなで踊ったねといった思い出に残る何かがつくれたらいいと思います。

05 取り組みの様子



常任委員会 主要事業決定

9月26日の自治連常任委員会で4年ぶり開催のふるさと祭りの主要事業を決定し、出展・出演・出店者の募集を開始しました。また、芸備線下和知駅開業100周年にあたることから、関連のパネル展示を行うことを決定し展示資料の収集を開始しました。



打合せ会議ですり合わせ

11月10日の打合せ会議には自治連、各種団体役員、出展、出店、出演者が集まり、前日の会場設営から当日の役割分担まで最終的なすり合わせを行いました。



会場設営

11月18日、午前中はみぞれまじりの悪天候でしたが、農産物品評会担当者は朝から出品受付に追われました。午後からは雨も上がりすべての役員、出店や出展者が集まり、テントや机、イスの運搬、設営、ステージ設営、駐車場の区画線引きなどの準備を行いました。



そして当日

そして当日 天気にも恵まれ、人もますます。昼からはトラックステージも始まり、県のポンプ操法競技大会に出場する和田分団の隊員の皆さんにもガンバレの掛け声！



ひさしぶりじゃねえ！

コロナでお出かけもままならない3年間、「ひさしぶりじゃねえ。元気になったん？」の声にも実感がこもります。ひよつこ達も久しぶりの出演で喜んでます。



たとえ一年に一回でも

和田全体が集まれる場。みんな年齢を重ねていく中で何回もできるものでもありません。お互いの生存確認をしながらも、子ども達が走り回り、新にお父さんやお母さん達が加わってくれる姿も見えます。このことが明日の和田へとつながる道となります。

声

- ☆ 久しぶりに皆さんに会えてよかったです。
- ☆ 展示会場が独立したのでゆっくり見ることができました。
- ☆ 知らなかった人が出店していて、和田にもこんなことをやっている人がいるんだとわかりました。
- ☆ 記念品が良かったです。

声

- バタバタ忙しかったけど、たくさんの人に来てもらえてよかったです。
- 4年ぶりの開催でどうなることかと思いましたが、みんな準備から本番までちゃっちゃと動いてプランクを感じさせませんでしたね。